

令和5年1月10日 1月号

三小だより



三小ケヤッキー



調布市立第三小学校
校長 秋國 光宏

HP:<http://www.chofu-schools.jp/chofu-3sho>

メールアドレス: chofu-3sho@chofu-schools.jp

目標に向かって挑戦する尊さ

校長 秋國 光宏

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、コロナ禍の続く中、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も「子どもが元気」「教職員にやる気」「地域に活気」をすすめる学校づくりに努めてまいりたいと考えております。今年もどうぞお力添えの程よろしくお願いたします。

さて、新年を迎えるに当たり昨年度末に盛り上がったサッカーワールドカップで、日本チームが私たちに与えた様々な影響力について振り返りたいと思います。

日本は、2大会連続で決勝リーグに進出し、ベスト8という新境地を目指して国民と共に共闘を繰り広げました。死のリーグとまで言われた対戦相手との道のりは、常に背水の陣で臨んだ大逆転劇の連続でした。世論も都合がよいもので、勝てば「官軍」、負ければ「国賊」と言わんばかりのSNS上の声が飛び交っていました。しかし、選手たちは、勝利という明確な目標に向かって全力で取り組んでいました。

選手の懸命さとともに、国と国との威信を懸けて戦う最高レベルの境地を見たのは、スペイン戦での決勝ゴールを決める判定のシーンでした。AI を駆使して正確な判定に至る中で浮き彫りになった場面は、選手の勝利への執念でした。アシストした選手は「1ミリでも残っていただと思って」とその時の胸中を伝えていました。こうした最後まであきらめない精神が、日本サッカーの強みの一つであったと思います。

解説者の一人は、日本サッカーの特徴を「タフさ」とも伝えていました。強豪チーム相手に、そのタフさを生かして粘り守り続けて一瞬のチャンスを生かすのが日本らしい姿でありました。日本らしさを感じる戦いが繰り広げられたことで、選手自身が楽しさを感じるよい結果をもたらしたと思っています。

私は、今回のワールドカップを通して、様々な人の在り方として学ぶことを思索することがありました。例えば、目標に向かって挑戦する尊さ、諦めない気持ち、周囲を思いやる心、自分を信じられるだけの努力、目標達成のための正確な知識と高い技能、周囲を和やかにさせる言葉の大切さ等でした。その中で特に印象的に感じたことは、「目標に向かって挑戦する尊さ」でした。「勝利」という明確な目標にチーム一丸となって取り組む姿勢は、人に感動や気持ちの高揚を覚えさせました。スポーツは、勝負に留まらない人の在り方として大切なことを、試合を視聴する人たちに訴えていたと思っています。

三小の子どもたちには、新年を迎え、今年1年を充実させるための目標をもち、着実に努力を積み重ねて力を付けてほしいと願っています。教職員は、子どもたちが掲げた目標に向かって主体的に取り組んでいくことができるよう学習環境の整備に努めてまいります。



保護者や地域の皆様におかれましても、どうか子どもたちの健やかな育成にご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

1月の目標

【生活目標】

規則正しい生活をしよう

3学期が始まりました。冬休みの生活から学校の生活への切り替えが必要です。

規則正しい生活を送り、健康な毎日を送れるように指導します。

【あいさつ目標】

気持ちを込めて挨拶をしよう

学校生活の様子（4～6年生）

4年生



2学期は、外部から講師の方をお招きした学習がたくさんありました。

けやきの「体の不自由な方とともに」の学習の一つとして、認知症についての学習をしました。身の回りにいる不自由な立場にいらっしゃる方々のことを理解することで、自分も役立ちたいという思いを深めることができました。

また、理科の「星や月」の学習と関連付けて、プラネタリウム体験をしました。迫力満点の夜空を見ながらお話を聞くことで、月や星についての興味をより一層高めることができました。

5年生



12月に連合音楽会がありました。調布市の5年生が集い、互いの演奏を披露し、鑑賞し合いました。三小は学習発表会でも披露した合唱「青い竜」、合奏「カルメン」。クラスの垣根を越えて、休み時間も声を掛け合い、パート練習を重ねてきました。グリーンホールに響き渡る子どもたちの綺麗なハーモニーと迫力のある演奏に、他校からも大きな拍手をもらいました。

また他校の演奏を聴き、「あの曲好きだな。」「他の学校の演奏も素敵だった！」など、一曲一曲味わいながら鑑賞し、素敵な一時を過ごすことができました。

6年生

12月に東京モバイルプラネタリウムさんを講師にお招きして、体育館でプラネタリウム体験を行いました。大きなドームの中に入ると大興奮な子どもたちでしたが、心を落ち着かせるような静かな音楽と講師の方々によるお話によって、次第に子どもたちはプラネタリウムの世界観へ一気に惹き込まれていきました。

夜空に見える星座はもちろん、北極星のお話、木星や火星の特徴について分かりやすく説明をしてくださり、子どもたちは有意義な時間を過ごすことができました。



校内書き初め展

日頃の書写の学習の成果を発表する機会として、各教室の前に書き初めを展示いたします。保護者の鑑賞は、児童下校後の下記の時間に限らせていただきます。ご都合のつく時にご来校いただき、児童の作品をご覧ください。廊下からの鑑賞のみとし、教室への入室はお控えください。

日時：令和5年1月16日（月）～1月20日（金） 15：50～16：30

展示場所：各クラス前の廊下

校舎内への出入り口：東昇降口（正門から入ってすぐの昇降口）

※期間中、東昇降口内に来校者名簿を設置します。ご来校の際はご記名をお願いいたします。

作品：1年 硬筆『おめでとう』 2年 硬筆『一年のはじまりに』
3年 毛筆『お正月』 4年 毛筆『元気な子』
5年 毛筆『平和の光』 6年 毛筆『夢の実現』

なわとび旬間について

寒い日が続くと、冬はどうしても運動不足になりがちです。本校では、体力づくりの一環として、1月から2月にかけてなわとび旬間を実施いたします。なわとびには様々な技があります。毎日練習に取り組んで技を習得していくことに伴って、体を思いのままに動かす力が高まってきます。なわとびを通して、楽しみながら体力を高められるように取り組んでいきます。

下記のような内容で実施いたします。毎朝お子様の体調を観察していただき、怪我のないよう行っていききたいと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- 1 実施期間 1月25日（水）～2月8日（水）
- 2 時間 中休み・体育の時間を中心に取り組めます。
- 3 実施方法 なわとびカードを使用し、個人の目標に応じたいろいろな技に挑戦します。両足とび、かけ足とび、あやとび、二重とび、はやぶさ、側振とび、二人技などがあります。持久とびにも挑戦します。
- 4 持ち物 体に合った長さの短なわ
汗ふきタオル

1月の行事予定

【お知らせ】

日	曜日	行事予定
1	日	元日
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	冬季休業日終
8	日	
9	月	成人の日
10	火	始業式 委員会 ※1～4年3時間 5・6年4時間授業
11	水	給食始 計測6年 ※全学年4時間授業
12	木	安全指導 席書会5・6年 計測4年
13	金	席書会3・4年 計測5年
14	土	
15	日	
16	月	朝会 書き初め展始
17	火	避難訓練 計測2年
18	水	仲よしタイム
19	木	計測1年
20	金	書き初め展終 計測3年
21	土	
22	日	
23	月	朝会 クラブ
24	火	
25	水	なわとび集会 なわとび旬間始
26	木	
27	金	連合図工展始
28	土	
29	日	
30	月	連合図工展終
31	火	

給食費の引き落としについて

1月分の引き落とし日は1月5日(木)でした。20日(金)が予備日ですので、お忘れの方は、**19日(木)まで**にご入金をお願いします。

1月は教材費も同時に引き落とされます。金額は各学年だよりでご確認ください。

連合図工展について

調布市内の各学校から、代表児童の図工の作品が展示されます。代表児童のご家庭には、別途ご案内のお便りを配布いたします。代表児童以外のご家庭の方も鑑賞は可能です。

期間：1月27日(金)～1月30日(月)

時間：27日(金)～29日(日)

9：00～18：00

30日(月)9：00～13：30

会場：文化会館たづくり

2階 南・北ギャラリー

1月のレインボールーム

★火曜日担当★ 結城 千宏

17日 24日 31日

★木曜日担当★ 杉沢 智子

12日 20日(金) 26日

開室時間 9：00～16：30

直通電話 485-1257

☆保護者の方々からのご相談や、電話での予約を受け付けております。

土曜授業参観

道徳授業地区公開講座について

2月4日(土)は、午前中授業参観、午後から道徳授業地区公開講座(オンライン)があります。詳細は別途配布するお便りをご確認ください。振替休業日はありません。

2月当初の予定

1日(水)なわとび集会

2日(木)安全指導

3日(金)避難訓練

4日(土)土曜授業参観(3時間授業 11:25 下校)

道徳授業地区公開講座